

第5回高齢運転者標識の様式に関する検討委員会議事概要

1 日時

平成22年2月19日（金）午後1時～午後2時40分

2 場所

警察総合庁舎4階第13会議室

3 出席者

(1) 委員（五十音順）

浅葉委員、駒場委員、鈴木委員、中谷委員、山村委員

(2) 警察庁出席者

入谷交通企画課長、田中交通安全企画官、宮内交通企画課課長補佐

4 議事概要

(1) 事務局説明

事務局から、第4回検討委員会議事概要、高齢運転者標識（もみじマーク）の代替案（以下「代替案」という。）選定のための新たなデザイン案の募集結果、代替案選定に係る予備審査の実施結果及び代替案の候補の選定手順について説明した。

(2) 代替案の候補の選定

以下の手順で代替案の候補を選定した。その過程において、委員から以下の意見が述べられた。

予備審査についての説明

予備審査における選定の経緯及び選定に当たったの基準等について、審査員を務めた委員から説明がなされた。

予備審査において127点のデザイン案を選定した。

デザイン案には傾向があり、いくつかのタイプに分類することができる。それぞれのタイプの中から出来がよいものを選定し、結果的に様々なバリエーションのデザイン案が残るように選定した。

全部で14,573点の応募があったと聞いているが、デザイン等の公募に対する応募数としては非常に多い方である。プロのデザイナーだけでなくアマチュアの方からも多くの応募があった。

1次審査（127点 45点）

予備審査において選定された127点のデザイン案の中から、各委員に、良いと思われるもの15点程度を選んでもらい、1名以上の委員が選んだ45点に候補を絞り込んだ。

遠くから見て分かりやすいシンプルなものが良いと思ったが、面白いデザイン案にも惹かれた。

自分が貼ることを考えたら、見ていて楽しくなるようなものを選びたくなった。

これであれば自分も貼っても良い、貼りたいと思うものを選んだ。色がきれいなものを選んだ。

前回の検討委員会において選定する際の基準として決定した基本的考え方に即して考えた。全体的に良いデザイン案が多いと思う。

代替案に選ばれた段階で高齢運転者標識として採用されると決まるわけではない。現行のもみじマークと比較する代替案としてふさわしいかどうかというのは大きなポイントだ。

自動車に表示する標識の場合は、車にも様々な色があることから、できる限りどのような色の車にも合うようなもの、かつ視認性が高いものを選ぶ必要がある。

2次審査（45点 14点）

残った45点の中から、各委員に、良いと思われるものに無記名で1位から7位までの順位を付けてもらった。1位を7点、2位を6点、3位を5点、4位を4点、5位を3点、6位を2点、7位を1点とし、合計点数が高かった14点に候補を絞り込んだ上で、事務局からそれぞれのデザイン案の根拠となったイメージを説明した。

10点を選ぶ予定であったが、9位で6点のデザイン案が同点であったため、14点を残して最終審査に進むこととした。

コンセプトを重視するとデザイン案の印象が変わってくるが、あくまでデザイン案そのものを見てどう伝わってくるかが大事だ。

最終審査（14点 8点）

残った14点の中から、各委員に、良いと思われるものに無記名で1位から5位までの順位を付けてもらった。1位を5点、2位を4点、3位を3点、4位を2点、5位を1点とし、合計点数が高かった8点を代替案の候補として選定した。

7点を選ぶ予定であったが、6位で3点のデザイン案が同点であったため、8点を代替案の候補として決定する。

(3) 今後の検討スケジュール

事務局から、今後の検討スケジュールについて説明した。

5 その他

事務局から、次回検討委員会の日程について連絡した。